

## ライフステージや障害特性に応じた自立への支援の充実について

## 1. 障害福祉人材の確保・定着・育成に向けた取組実績（7年度は12月末現在）

## (1) めぐる福祉しごと相談会

区内介護事業所及び区内障害福祉サービス事業所を対象に、ハローワーク等と連携して年2回、介護・障害福祉従事者向けの合同採用説明会を実施している。

年度	参加法人（延べ）	参加者数（延べ）	採用人数（延べ）
令和5年度	39 法人	83 人	8 人
令和6年度	38 法人	71 人	3 人
令和7年度	28 法人	69 人	5 人

## (2) 民間障害者グループホーム等職員宿舎借上げ支援事業

障害福祉事業に従事する人材の確保及び災害時における要支援者支援体制の強化を目的として、区内に障害者グループホーム等を設置する法人に対して職員宿舎借上げ費用の一部を補助する。

年度	対象法人・戸数	補助額計
令和5年度	3 法人・10 戸	5,400,000 円
令和6年度	3 法人・10 戸	5,300,000 円
令和7年度	4 法人・10 戸	5,060,000 円

## (3) 訪問系障害福祉サービス事業所人材確保支援事業（令和7年度新規）

居宅介護・重度訪問介護事業所が高齢者・大学生等を採用し、ヘルパーをサポートする人材を確保するための経費（①）を助成することに加え、サポートする人材が事業所への本採用に向けて資格取得を目指す場合の経費（②）を補助する。

年度	① 業務活用支援事業		② 人材確保支援事業		計	
令和7年度	1 法人	904,400 円	-	0 円	1 法人	904,400 円

## (4) 民間障害福祉サービス従業者養成研修事業

障害福祉サービス従業者の育成促進のため、事業所が負担した従業者の資格取得に要する研修受講費用、または東京都の指定を受けて養成研修を実施する事業者の研修実施に係る費用を助成する。

年度	研修受講費助成		研修実施費用助成		計
令和5年度	10 人	231,480 円	15 回	450,000 円	681,480 円
令和6年度	11 人	252,950 円	13 回	390,000 円	642,950 円
令和7年度	27 人	338,000 円	3 回	90,000 円	428,000 円

## 2. 区の障害児支援体制

## (1) 目黒区児童発達支援センター「すくすくのびのび園」

児童福祉法に基づき、下記のとおり児童発達支援センター事業を行っている。児童発達支援センターは、地域の障害児の健全な発達において中核的な役割（詳細は別紙参照。）を担う機関として、児童発達支援を提供するとともに、障害児の家族、障害児通所支援事業等の関係者に対し、相談や専門的な助言等を行う。

事業	事業	事業内容
児童発達支援事業 「すくすくのびのび園」	児童発達支援	集団及び個別の場における療育や家族支援等を行う。
	保育所等訪問支援	保育所等の集団生活を営む施設を訪問し、集団生活の適応のための専門的な支援等を行う。
障害児相談支援 「ひまわり」	障害児相談支援	発達に支援が必要な18歳未満の児童及びその家族への切れ目のない相談支援を行う。

(2) 区の指定障害児通所支援事業所の現状について（7年10月末現在）

事業	事業所数	支給決定者数
児童発達支援	18事業所	448人
放課後等デイサービス	20事業所	530人
保育所等訪問支援	7事業所	109人
居宅訪問型児童発達支援	0事業所	0人

3. インクルーシブ教育システムの構築

(1) 特別支援教育支援員

区立小・中学校の通常の学級に在籍し、学習面及び生活面での特別な支援を要する児童・生徒に対し、実態に応じた支援（安全確保、身辺自立支援、コミュニケーション支援、授業参加支援等）を行う。

年度	対象者数			支援員 配置数	執行時数
	児童	生徒	合計		
令和5年度	821人	149人	970人	305人	98,714時間
令和6年度	900人	122人	1,022人	339人	107,224時間
令和7年度	989人	122人	1,111人	302人	79,959時間

(2) 特別支援教育研修

通常の学級の教員が、特別支援教育に関する理解を深めるとともに、障害に応じた指導・支援や体制の充実・改善を図るために実施している（年3回程度実施、毎回35名程度が参加）。

(3) 特別支援学級設置校（固定学級）における交流及び共同学習の取組

遠足、校外学習、一部教科等において交流・共同学習の機会を区内の小・中学校10校で実施している。